

農家の意見を農政へ 19年度町施策に要望

担い手育成や 遊休農地解消を重点に

町農業委員会は1月19日、森仁町長あてに農家の意見を取りまとめた平成19年度芳賀町予算・施策に関する建議・要望をしました。

この日は、加藤勲会長、土井茂夫会長職務代理、谷島巖建議要望委員長、黒崎宣芳同副委員長がそろって、町長室で森町長に要望書を直接手渡しました(左写真)。



- ◆要望書の主な内容◆
- ① 認定農業者など農業担い手、人材の育成・確保
 - ② 効果的な遊休農地の解消事業の新設
 - ③ 農地流動化奨励金の継続
 - ④ 全町的な農地・水など農村の環境保全対策の実施

担い手・人材教育に汗を



農業委員会
建議要望委員長
谷島 巖さん

認定農業者と集落営農に国の支援を集中させる、中小農家切り捨てとも取れる農業経営安定対策が平成19年から始まる。戦後農政の大転換である。町農政として、農業の振興・活性化のために汗をかいてもらいたい。特に農業担い手・農業人材の教育や育成、確保に予算を重点配分してほしい。

進む、遊休農地の解消

前年比で50%の減

農業委員会の最重要事業として1年間、数年以上にわたり不耕作状態にある遊休農地の解消に取り組んできた成果がまとまりました。

平成17年夏には38・6haの遊休農地がありました。平成18年末には前年比で50%強の減となる21haを解消、17・6haまでにすることができました。

農地パトロールに基づく農業委員の働きかけで耕作者自らの草刈や耕起、認定農業者が借り受けての耕作再開につ

なっています。
詳しくは下のグラフのとおりです。

大字別に見てみましょう。
前年比で60%以上減っている大字は、与能、東高橋、東水沼、西高橋、西水沼、八ツ木となつています。与能は4haを解消して遊休農地がなくなりました。

稲毛田、東高橋、祖母井、東水沼では2ha以上の遊休農地が解消されています。

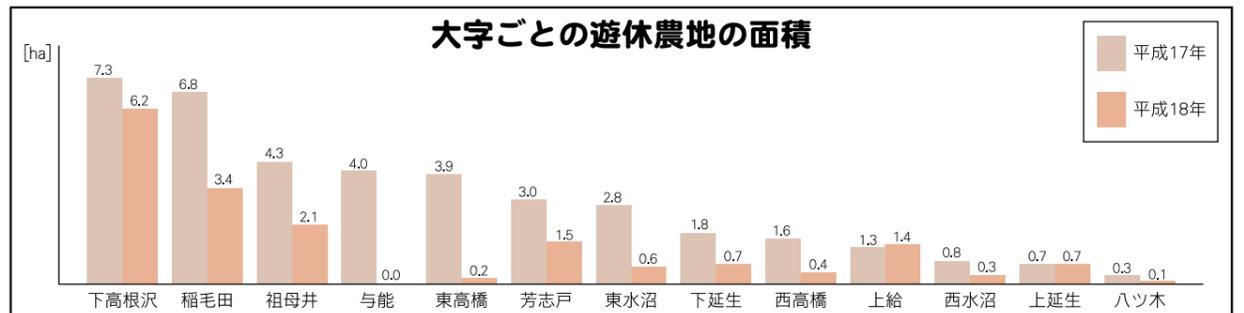
一方で依然として、下高根、沢6・2ha、稲毛田3・4ha、祖母井2・1haなどで遊休農地が残されています。

ながつています。
詳しくは下のグラフのとおりです。

大字別に見てみましょう。
前年比で60%以上減っている大字は、与能、東高橋、東水沼、西高橋、西水沼、八ツ木となつています。与能は4haを解消して遊休農地がなくなりました。

稲毛田、東高橋、祖母井、東水沼では2ha以上の遊休農地が解消されています。

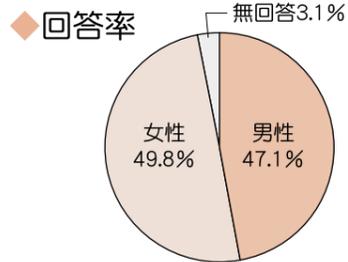
一方で依然として、下高根、沢6・2ha、稲毛田3・4ha、祖母井2・1haなどで遊休農地が残されています。



第3回

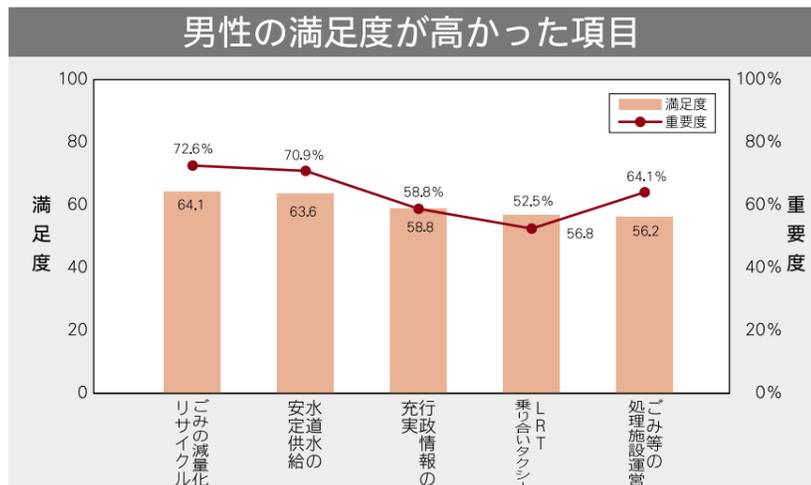
満足度調査結果から

町民満足度調査結果を今回は『男女別』で比較してみましょう。

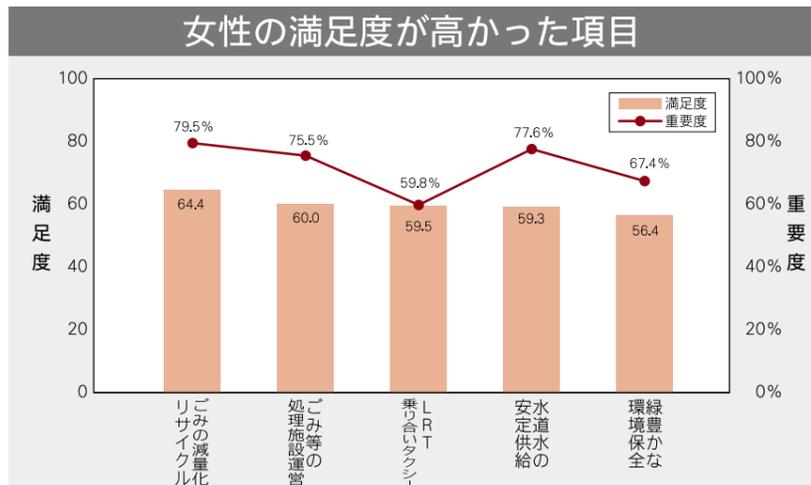


平均値は、満足度・重要度共に女性が高くなっています。

女性から多くの回答をいただきました。調査に対し、女性の方が強い関心を持っていることが分かります。



「ゴミの減量化・リサイクル」「水道水の安定供給」の満足度が高くなりました。続いて「行政情報の充実」の満足度が高くなっています。男性のみ、満足度の上位に入り、女性にも分かりやすいホームページや広報紙の情報の充実が求められます。また「LRT・乗合いタクシー」は、重要度よりも満足度の方が高い結果となりました。



「ゴミの減量化・リサイクル」「ゴミ等の処理施設運営」の満足度が高くなりました。この2つの項目は重要度も非常に高くなっています。また「緑豊かな環境保全」の満足度も高く、女性は「環境」に対する関心が高いことも分かります。

男女別にみると、教育分野では、「生涯学習」や「スポーツ」など男性の満足度が低くなっています。逆に、地域コミュニティ分野では、男性の満足度が高く、女性の満足度が低くなっています。

また、健康医療福祉分野では、子育てなど女性の満足度は低いのではと予想されましたが、女性の満足度の方が高くなりました。

行財政分野は、男性の満足度の方が高くなっています。特に「健全な税金の使い方」では女性の満足度は37.9と、とても低くなっています。

年代別、地域別、そして今回男女別と比較分析しましたが、これらの結果をさらに分析し、よりニーズに合った施策の展開をしていきたいと考えています。

総務課経営品質推進係
【☎028 (677) 1111】



※詳しくは、ホームページに「町民満足度調査資料編」として掲載しておりますのでご覧ください。